

図書館だより

図書館日誌

2014年

- 11.11 図書館協議会（第2回）
- 11.11 電子媒体検討委員会（第2回）
- 11.13,14 ビブリオバトルを開催
- 12.19 図書館協議会（第3回）
- 12.23 冬季休業期間につき開館時間短縮（1/7まで）

2015年

- 1.28 電子媒体検討委員会（第3回）
- 2.3 図書館学習支援連携委員会（第16回）
- 2.4 図書館協議会（第4回）

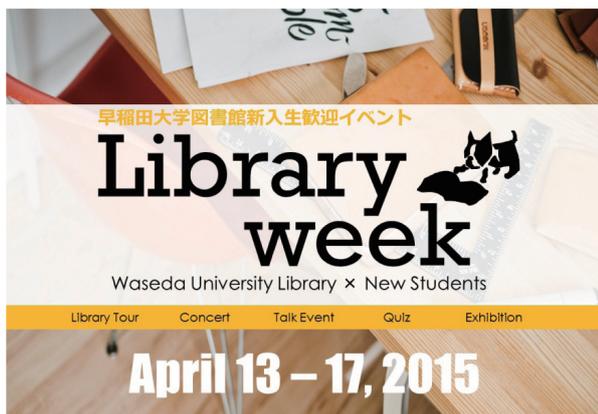
新入生歓迎イベント“Library Week”開催

新入生に大学図書館の醍醐味を体感していただくために“Library Week”をこの春も開催いたします。期間中、様々なイベントや展示を行いますので、ぜひ図書館にお越しください。

日程：2015年4月13日（月）～17日（金）

場所：中央図書館、戸山図書館、所沢図書館

詳細は図書館ホームページにてご覧ください。



～ Pulsus ～

「図書館は知の宝庫」だと言われてきた。では、「宝庫」とは何であろうか？ 辞書でひいてみると「宝物を納めておく倉庫」とかとなっている。所詮は、「倉庫」なのである。では、宝物の価値は、何によって測ることができるのであろうか？ 一般的な「宝物」で言えば、その『質』と『量』によって測ることができるであろう。これまで多くの優れた選書眼をもって選ばれた550万冊を超える蔵書を誇る早稲田大学図書館は、素晴らしい宝物を納めた「倉庫」だと言える。

しかし、大学図書館は単なる「倉庫」であってはならない。その中にある「宝物」を使って新しい『知』をどのように創造していくことができるかが大学図書館の最も重要な機能である。すなわち、『知』を創造していくことを、図書館としてどのように支援していくかが最も重要であると言える。

昨今、教育、研究の方法論が急速に変化している。とすれば、その支援方法も大きく変える必要がある。これを図書館の総力をあげて実現していきたい。

深澤 良彰：理工学術院 教授
(図書館長)

大学の心臓、図書館。

Pulsusはその鼓動（Pulsus）をお伝えします。

[表紙写真]

たみ・我遊祝賀 俳諧一枚刷

江戸時代（雲英文庫）

芸妓のたみ、我遊が落籍されたことを祝し記念に刷られたもの。大阪の絵師・周南が、色鮮やかな菊慈童の絵を添えている。本資料は、図書館で現在開催している企画展「俳諧の世界」に展示中である（本誌p5参照）。

早稲田大学図書館報

ふみくら No.87

2015年3月30日発行 2,500部

発行人／深澤良彰

編集／荘司雅之・阪下清香・ティムソン ジョウナス・藤原一智・真島めぐみ

発行／早稲田大学図書館 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 電話 03-5286-1652

ISSN 0289-8926